

~ 架け橋 ~ Puenete

フラメンコが繋ぐ日本とスペイン

Emocionesでは、2017年にスペインからアーティストを招聘して「大航海時代のスペイン音楽とフラメンコ」を企画しました。その時のカンテ（歌手）、またスペインでプロの歌手として活躍し、昨年には大阪・関西万博スペイン館において、アンダルシア州の代表としてイベントにも来日した、ホセ・ルイス・ベレス・ベラを招聘しました。日常からかけ離れた幻想的なスペインの世界をご堪能ください。

- 〈 演 目 〉
- E. グラナドス La maja y el ruiseñor 「嘆き、マハと夜鳴きうぐいす」
 - G. ロルカ Las Morillas de Jaen 「ハエンの女たち」
 - Anda Jaleo 「アンダハレオ」
 - フラメンコ曲 セビジャーナス ファルーカ 他



シンガー・ピアノ・ダンサー

Jose Luis Perez-vera (1994年生まれ ウェルバ出身)

作曲家の父ファン・ラファエル、セビジャーナスの作詞者である叔父フェリシアーノからフラメンコを学ぶ。15歳でセビージャのフラメンコ芸術学院の奨学金を獲得し、翌年には踊りの為のカンテを学ぶ。イノホス市立音楽高等学校でピアノ専攻。フラメンコ歌手としてエバ・ジェルバブエナに認められ、2015年以降エンリケ・エストレメーニョ、ホセ・バレンシア、ミゲル・ポベダ、アルカンヘル、アルヘンティーナと様々な公演で共演。2022年に初のアルバム『Tierra Prometida』をリリース。2025年12月に自身の家族が作曲したセビジャーナスのアルバム『ナ・セ・ハ・セ・ペリデオ』をリリース。



ダンサー

溝畑 直子

NAOKO MIZOHATA

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。同大学院修了。2007年より英国ウェルズ留学中にフラメンコに出会う。2010年にセビージャのフラメンコ芸術学院に留学。2011年からアルマ・デ・フラメンコ大阪校の講師。2015年より独立。2017年に住友生命いずみホール初のフラメンコ公演を主催。2019年にギジエナ国際コンクール・セミアファイナリストに選出。



ダンサー

向 京子

KYOKO MUKAI

京都外国語大学在籍中にフラメンコに出会い、濱田立華に師事。2011年の濱田立華プロデュース「EL TIEMPO MUERTO」(ラファエル・アマルゴ舞踊団作品)、2013年の森久美子舞踊団作品「AMATERASU」のアメノウズメ役として出演、2015年のサンケイホールブリーゼにて、自身の脚本による作品「MI REFLEJO」を上演。2018年に合同会社スタジオ NORA大阪を設立。



ギター

徳永 健太郎

KENTARO TOKUNAGA

15歳でスペインのフラメンコ音楽学院に入学、卒業後は講師として在籍。国内外のコンクールにて、多数の受賞歴。10代にしてスペインのGala Flamencoにて【今最も期待されるギタリスト】に選ばれ表彰される。NHK【旅するためのスペイン語】OPテーマ担当。他ゴットタレント、NHK『あさイチ』、フジロック等に出演。日本コロムビア所属



パーカッション

kan

KAN

マルチパーカッショニスト。ボストンのパークラー音楽大学卒業。仙道さおり氏、小川慶太氏、チェンボコルニエル、セルジオクラコウスキなどに師事。第63回グラミー賞「Best Immersive Audio Album」のカテゴリにおいて自身が参加した、Alain Malletのアルバム「A Wake Of Sorrows Engulfed In Rage」がノミネート。2022年イスラエル人ピアニスト Yotam Ishayのイスラエルツアーに参加。



ソプラノ

山本 美恵

MIE YAMAMOTO

1993年より故・中村利男氏に声楽を師事。2015年ウィーンマイスタークルゼに参加、Felicity Lott氏のクラスでDiplomを取得。2013年2024年ソロリサイタル。2018年T. Soare氏指揮オラデア市交響楽団とR. Strauß Vier Letzte Liederを共演、他各種コンサートを企画出演。



ピアノ

長島 優子

YUKO NAGASHIMA

同志社女子大学音楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを故吉田輝子・福本俊之の両氏に作曲法を故藤井園子氏に師事。デトモルト音楽大学でピアノをW. シュニャア教授、室内楽をH. ユンク教授にレッスンを受講。現在、歌曲・室内楽ピアニストとして活動を続け、後進の指導にも精力的にあたっている。

